



鎌田地区
令和元年 7 月 1 日現在
世帯数 8,964 戸
男 9,952 人
女 9,561 人
発行者 鎌田地区公民館 公民館報編集委員会

地域と学校が連携して 心豊かな子どもを育てよう

松本市は、地域と学校が連携・協働しながら子どもを育てる「コミュニティスクール」を進めており、鎌田地区の児童や生徒が通学する鎌田小・開明小・鎌田中・信明中でも特色ある取り組みをしています。

コミュニティスクール (略称：CS)のねらい

CSが目指す到達点は、子どもたちが学校や家庭だけでなく、地域の大人たちと接するなかから育む「郷土愛」です。鎌田地区の4つの学校では、以前から地域の方々が学校に出向いて工作や料理などのクラブ活動の講師を務めるなど、子どもたちを温かく見守っていただいています。一方で子どもたちも積極的に地域に飛び出し、町会の清掃や防災訓練に参加したり、町内運動会の企画・運営に携わるなどの活動を展開しています。

子どもたちは地域の宝であり、将来の鎌田地区の担い手です。子どもたちと関わるこ



生徒会役員が住民と意見交換(信明中)

とで、私たち大人も地域での絆がさらに深まり、地域そのものも活性化していきます。各学校の1学期のCSの様子を紹介します。なお、CSでは皆さんの得意分野を活かすボランティア活動がたくさんあります。学校支援の活動に関心ある方は鎌田地区公民館へお問い合わせください。

鎌田小学校 七夕人形づくり



2年生153人が松本地方伝統の紙ひな形式の七夕人形づくりに取り組みました。人形を飾る松本の七夕行事を題材とした絵本を「本読み隊」ボランティアが朗読したあと、地区内から募ったボランティア36人が児童の人形づくりを手伝いました。

開明小学校 地域まち探検

3年生の児童が地元の住民と一緒に東西南北の4コースに分かれて地区内を歩きました。「自分たちが住むまちには何があるか」をテーマに散策し、商業施設や文化財などを確認する学習を住民に見守られながら行っています。



信明中学校 住民が講師の地域出前講座



6月28日、地元の住民が講師を務める地域出前講座を開催し、2年生104人が校内の池での生態観察やスポーツ吹き矢体験、工作など6グループに分かれて活動しました。2学期には1年生対象の出前講座も住民の協力を得て実施します。

鎌田中学校 地元町会で地域活動

昨年「鎌田に生きる私」を共通テーマに、全校生徒が総合的な学習に取り組んでいます。生徒が居住町会別に23のグループに分かれて、各グループが自主的に活動テーマを設定し、1年間の実践活動でゴールを目指します。

7月3日、両島1グループ22人は町会の人たちと一緒に両島川の草取り清掃と生態観察を行いました。湧水の両島川は夏にはバ

イカモが咲く川で、草取りが済むといくつかの芽が見つかりました。この川に蛍も棲まわせたいというのが生徒たちの望みです。川で採取した生物を図鑑で調べると、ゲンゴロウやプラナリアなどきれいな水でないと棲めない貴重な生物がいることも分かりました。

「これからも地域の人たちと清掃を続けたい」「川に生き物がたくさんいてびっくりした」。最後に感想や抱負を述べた生徒たちの表情は生き生きと輝いていました。



▶町会の住民と草取り清掃



◀両島浄化センター
近くで生態観察

鎌田地区公民館の周辺に小学生が花植え

6月20日、鎌田小学校の児童が両島町会の住民と一緒に花植えを行いました。



第62回 鎌田地区球技大会

6月30日と7月14日の両日、鎌田地区体育協会の主催で開催されました。雨天により一部競技が中止になったため、今年は総合優勝がなく、町会連合会から寄贈された新しい優勝旗は来年度の総合優勝町会に授与されます。



新しい優勝旗を開会式で披露▶

（民児協研修委員弦間 順子）
ある視察研修でした。楽しいスピーチもあり、実りある視察研修でした。

（松本 捷幸）



ほんぽんの由来を歌と映像で勉強

松本の伝統行事を子どもたちが学習

● 青山様とほんぽん
青山様は、杉葉で作った青山神社の神輿を男の子たちが担いで威勢よく練り歩きます。ほんぽんは、着物を着て、ほうずき提灯を持った女の子たちが哀愁を帯びた歌を歌いながら歩きます。

● 三九郎
小正月に行われる道祖神の代表的な火祭りです。全国的に行われています。呼び名はドンド焼きなど様々ですが、松本市周辺では三九郎と呼ばれています。三九郎の由来は人名にかかわる説など諸説があり、定かではありません。三九郎の形や大きさも変わってきていますが、正月の松飾りを燃やし繭玉を焼いて食べ、無病息災を祈る伝統行事として今も各町会で続いています。

6月25日、鎌田地区民生委員・児童委員協議会30名が軽井沢町立保健福祉複合施設「木もれ陽の里」を訪ねました。施設は信濃追分駅の近くにあり、住民の健康増進と疾病予防の保健・福祉の機能を総合的に提供する「健康づくりと福祉サービス」の拠点として、平成19年に開館しました。



保健福祉施設を視察

フロアは健康増進・保健予防・障害者支援・高齢者生活支援・交流多機能の5つの部門で構成されているのが大きな特徴です。施設で働くスタッフの方々や利用者の皆さんが、私たちが笑顔で迎えてくださる姿がとても印象的でした。往復のバス車中では、民生委員としての「来し方・これから」など、楽しいスピーチもあり、実りある視察研修でした。

雑感

県内で平成30年度、ケガで会社を4日以上休んだ人は2120人、労災で亡くなられた人は19人でした。多くの皆さんが被災しています▼このような災害を起さないために、土木工用建設機械、高所作業車、フォークリフト、重量物を吊るクレーン、その他多くの機械類の運転は、法律で定められている運転資格を所有しないと出来ません▼私はこれら機械の運転資格取得の学科担当講師をしています。若い方、年配の方、女性の方など様々な年代を対象とした講習です。話をする時は、機械などの専門用語が理解出来るよう、自分なりに工夫をしています▼講師として、心がけていることが幾つかあります。話をする時は絶対ポケットに手を入れない、椅子に座って話さない、言葉の間に「えー、あのー」などサイレントノイズを入れないこと▼一番力を入れる所は、死亡災害例を話す時です。そこでは特に県内の災害事例に注意し、参考としています。これからも災害がゼロになることを願い、微力ながら努力します。